奉仕の心で地域貢献

大垣キワニスクラブに認証状



小川恵三国際キワニス日本地区ガバナー代理から認証状を受ける西脇史雄大垣キワニスクラブ会長(左)＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル

県内で初めて設立された国際奉仕団体「大垣キワニスクラブ」への認証状授与式が6日、大垣市万石の大垣フォーラムホテルで開かれた。

キワニスクラブは、世界80カ国以上に約21万人の会員がいる奉仕団体。ライオンズクラブ、ロータリークラブとともに世界3大奉仕団体の一つとされている。子どもへの奉仕を中心に活動し、現在、国内に33のクラブがあり会員数は約2千人。

大垣キワニスクラブは今年3月、国内32番目のクラブとして西濃地域の企業役員ら会員37人で発足。西脇史雄大垣信用金庫会長が初代会長となり、顧問に田口義嘉壽セイノーホールディングス会長、小川敏大垣市長、土屋巍大垣共立銀行頭取、小川信也太平洋工業社長が就いた。6月には活動の一環として、市民病院に患者の子どもたちが親しむ人形「キワニスドール」を30体贈った。

式には、会員と古田肇知事ら県内外の約130人が出席。国際キワニス日本地区の小川恵三ガバナー代理が「皆さんと一緒に世界の子どもたちの未来のために奉仕していきたい」と式辞を述べ、認証状を授与。西脇会長は「市内にある青少年育成団体の指導も受け、会員一同子どもたちのために頑張りたい」と謝辞を述べた。

祝賀会で、会員らが地域貢献を誓って歓談した。(土屋健一)

無断複製・転載を禁じます